



JAPANESE INN GROUP

<http://japaneseinngroup.com>

“外客1000万人時代”に存在感さらに高まる

ジャパニーズ・イン・グループ(JIG)は、訪日外国人の受け入れに積極的な中小規模旅館の組織で、全国に64軒の会員を持つ。政府が目標とする訪日外客1千万人の達成が有力視される中、外客のもてなしに30余年のノウハウを持つ同グループの存在感はますます高まっている。福田金也会長にグループの概要や今後の取り組みを聞いた。

——ジャパニーズ・イン・グループとは、どんなグループですか。

「外国人のお客さまに、旅館での宿泊を通して日本文化をご理解いただき、国際親善につなげるというのが設立の趣旨です。ただ単にお客さまを泊めて、利益を追求するは1泊2食が原則ですか

というグループではないところがポイントです。今年で創立34年目。はじめは7軒でスタートしましたが、今では64軒が加盟しています」

——創立当時は今ほどインバウンドが脚光を浴びていなかったと思います。

「昔は、特に地方では、外国人の受け入れは『すき間産業』のようなところがあって、経営者が海外に住んでいたとか、先進的な考えを持つところが行っていました。旅館は1泊2食が原則ですか

ら、外国人の宿泊スタイルに合わなかったのです。でも、今ではすき間産業からだんだん地位が上がり、地域によってはその土地の経済をリードするほどになってきています」

「昔は外国のお客さまが地方に行くこと自体が少なかつたですからね。それに予約の手段も、まだ手紙の時代。洋式のトイレも少なかつたし、おれを理解し説明する必要

風呂の栓も抜かれてしまったりと、外国人を泊めるに当たり、クリアしなければならぬ問題がい

「グループでは、これらの問題の解決に向けたの作成・配布。年1回のペースで、毎回6万部を発行しています。このうち海外への発送分が約半分。JNTO(日本政府観光局)の海外事務所や大・公使館、JETRO(日本貿易振興機構)

人のお客さまを案内して、さらには自分のホームページにリンクでき、旅館の予約システムとして利用できます。自設。ほかに、泊食分離が可能なこと、クレジットカードの取り扱いができること、ウェブ使用環境

「まず、グループの旅館を紹介するパンフレットの作成・配布。年1回のペースで、毎回6万部を発行しています。このうち海外への発送分が約半分。JNTO(日本政府観光局)の海外事務所や大・公使館、JETRO(日本貿易振興機構)

「基本的には客室30室以下の、和室を有する施設。ほかに、泊食分離が可能なこと、クレジットカードの取り扱いができること、ウェブ使用環境

「まず、グループの旅館を紹介するパンフレットの作成・配布。年1回のペースで、毎回6万部を発行しています。このうち海外への発送分が約半分。JNTO(日本政府観光局)の海外事務所や大・公使館、JETRO(日本貿易振興機構)

「基本的には客室30室以下の、和室を有する施設。ほかに、泊食分離が可能なこと、クレジットカードの取り扱いができること、ウェブ使用環境

「まず、グループの旅館を紹介するパンフレットの作成・配布。年1回のペースで、毎回6万部を発行しています。このうち海外への発送分が約半分。JNTO(日本政府観光局)の海外事務所や大・公使館、JETRO(日本貿易振興機構)

「基本的には客室30室以下の、和室を有する施設。ほかに、泊食分離が可能なこと、クレジットカードの取り扱いができること、ウェブ使用環境

「まず、グループの旅館を紹介するパンフレットの作成・配布。年1回のペースで、毎回6万部を発行しています。このうち海外への発送分が約半分。JNTO(日本政府観光局)の海外事務所や大・公使館、JETRO(日本貿易振興機構)

「基本的には客室30室以下の、和室を有する施設。ほかに、泊食分離が可能なこと、クレジットカードの取り扱いができること、ウェブ使用環境

「まず、グループの旅館を紹介するパンフレットの作成・配布。年1回のペースで、毎回6万部を発行しています。このうち海外への発送分が約半分。JNTO(日本政府観光局)の海外事務所や大・公使館、JETRO(日本貿易振興機構)

ウェブ通じ海外へ露出度アップ

があるということ。これの海外事務所がメインをいながら、むしろ楽しみながら行ってきたところが多くのお客さまを受け入れています」

「今、喜ばれているのは、旅館でのさまざまな日本文化の体験。ある会員旅館では、弓道ができたり茶道や生け花、着物

「このほか研修会を年2回行っており、国内や海外でのトラベルマートにも積極的に出展しています」

「今後の新しい事業展開は。『やはりウェブ対策が主流です。いかにグループの露出度を高め知っていただく、宿泊につなげるか、を中心に取り組んでいます』



ジャパニーズ・イン・グループ 福田金也会長に聞く

組織概要

創立 1979年
目的 ①訪日外客への宿泊施設の提供と接遇を通して日本文化を伝え、国際親善に寄与する②「①」を達成するため、会員相互の向上研鑽と親睦を図る
会員数 64軒(準会員含む)
会長 福田金也(栃木県・タートル・イン・日光)
年会費 正会員初年度6万円(2年度以降は規模や地域により算出)、準会員3万円
入会金 正会員4万円(ほかに看板代1万1000円、版代5000円)、準会員1万5000円(ほかに版代5000円)
入会に対する問い合わせ 桜旅館内担当鈴木(☎03-3876-8118)
ホームページ <http://japaneseinngroup.com/>



左から目崎照雄会計理事(東京・旅館勝太郎)、福田会長、鈴木隆徳理事(東京・桜旅館)